絵本と私たちの体験や記憶との関係を考える

今田　由香

はじめに

1．体験をもたらす絵本

1-1．心も身体も動く

・かがくいひろし『だるまさんが』ブロンズ新社, 2008.
・むらたよしこ『かおたいそう』偕成社, 2024.
・まつおかたつひで『ぴょーん』ポプラ社, 2000.

1-2．知ること、わかることの楽しさと出会う

・平山和子『くだもの』福音館書店, 1981.
・エリック・カール『1.2.3 どうぶつえんへ』偕成社, 1970.
・デミ作，さくまゆみこ訳『1 つぶのおこめ』光村教育図書, 2009.

1-3．絵本で物語を体験する

・長谷川摂子作，ふりやなな画『めっきらもっきら どおんどん』福音館書店, 1990.
・トミー・アンゲラー作，今江祥智訳『すてきな 三にんぐみ』偕成社, 1969.
・エリック・カール作・絵，もりひさし訳『はらぺこあおむし』偕成社, 1976.

2．体験の意味を語る絵本、体験から生まれた絵本

2-1．体験の意味を語る

・マーガレット・ワイズ・ブラウン作，ガース・ウィリアムズ絵，松岡享子訳『まんげつのよるまでまちなさい』ペンギン社, 1978.
・マーク・ベロニカ文，とくながやすもと訳『ラチとらいおん』福音館書店, 1965.
・ジョオ作，かみやにじ訳『ぼくのすみっこ』ほるぷ出版, 2025.

2-2．作者の体験を反映した絵本

・モーリス・センダック作，神宮輝夫訳『かいじゅうたちのいるところ』冨山房, 1975.
・トミー・ウンゲラー作，今江祥智訳『エミールくん がんばる』文化出版局, 1975.

2-3．体験を伝える

・堀川理万子『いま、日本は戦争をしているー太平洋戦争のときの子どもたち』小峰書店, 2025.

・堀川理万子『海のアトリエ』偕成社, 2021.
・那須正幹作, 武田美穂絵『やくそく　ぼくらはぜったい戦争しない』ポプラ社, 2025.
・那須正幹作, 武田美穂絵『ねんどの神さま』ポプラ社, 1992.
・ニコライ・ポポフ『なぜ　あらそうの？』BL 出版, 2000.

3．体験と読書

3-1. 記憶を呼び覚ます

・伊藤比呂美文, 片山健絵『なっちゃんのなつ』福音館書店, 2019.
・みやこしあきこ『よるのかえりみち』偕成社, 2015.
・ギデオン・ステラー作, マリアキアラ・ディ・ジョルジョ絵『まよなかのゆうえんち』BL 出版, 2022.

3-2. それぞれの物語

・ジョーダン・スコット文, シドニー・スミス絵, 原田勝訳『おばあちゃんのにわ』偕成社, 2023.
・阿部結『なみのいちにち』ほるぷ出版, 2022.
・M.B.ゴフスタイン作・絵, 谷川俊太郎訳『おばあちゃんのはこぶね』現代企画室, 2018.

おわりに